

令和5年度全国学力・学習状況調査

の結果をお知らせします

●学校教育課(内線376)

本調査は学校における児童生徒への教育指導の充実や、学習状況の改善などに役立てるため、毎年全国一斉に実施されています。

▶実施日 4月18日(火)

▶対象 小学6年生、中学3年生

▶調査内容 【小学校】国語、算数、児童質問紙 【中学校】国語、数学、英語、生徒質問紙

結果

[平均正答率 (%)]

【教科】	小学6年生			中学3年生		
	市	県	全国	市	県	全国
国語	67	66	67	70	69	69
算数/数学	58	60	62	48	48	51
英語	-	-	-	40	40	45

＼今後も伸ばしていきます／

全国平均を上回り正答率が高かった問題

小学

【国語】送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと

中学

【国語】聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること
【数学】数と整式の乗法の計算について理解すること

＼学校での指導を工夫します／

全国平均を下回っている問題

小学

【国語】図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること

【算数】正三角形の意味や性質について理解すること

中学

【数学】ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること

【英語】日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと

【質問紙調査】 学習意欲や学習方法、学習環境、生活面などに関する調査です(回答は「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の4択)。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

高

低

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- ・人が困っているときは、進んで助けている
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う

- ・新聞を読んでいる
- ・住んでいる地域の行事に参加している
- ・学校の授業時間以外に、1日あたり小学校1時間(中学校2時間)以上勉強をする

これらは全国的にも割合が低く、各学校での「学びの習慣化」を工夫していきます。